

広報

No.688

もりまち

内容

平成26年度予算概要／公共下水道供用区域拡大／

今月の表紙

遠州森町スマートICが開通

3月29日、遠州森町PAに接続する遠州森町スマートIC開通式典が関係者により行われ、午後3時に開通しました。

(関連記事…9頁)

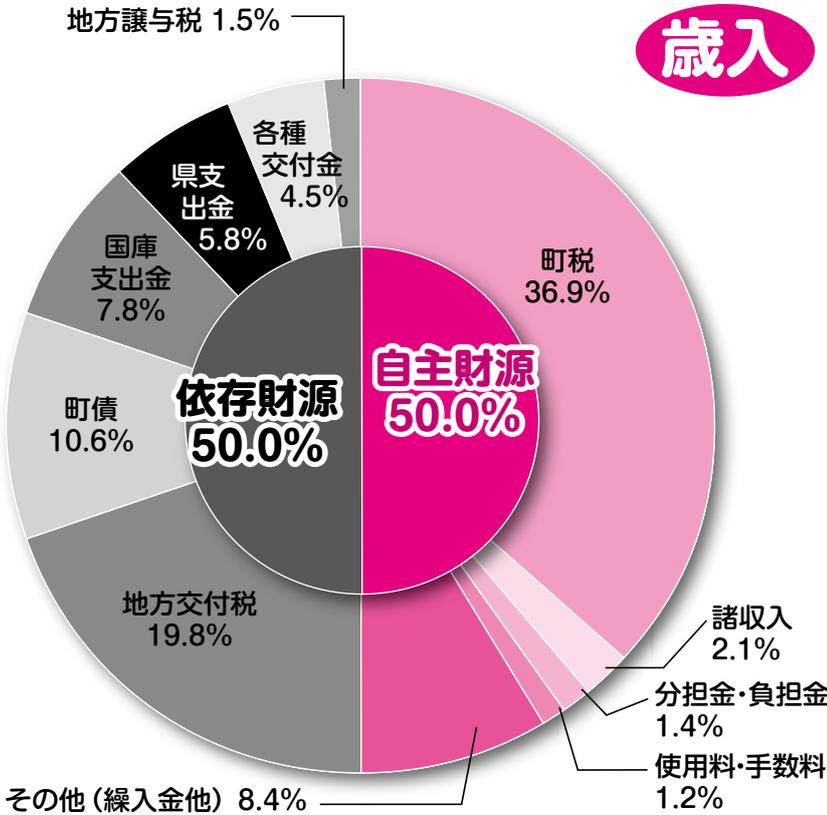


平成26年 **4** 月号
2014

平成26年度

当初予算の概要

平成26年度当初予算が、3月の町議会定例会で可決され、4月1日から新年度がスタートしました。町の予算は、一般会計・特別会計・企業会計の予算から成り立っています。ここでは、皆さんにいちばん身近な一般会計予算の内容を紹介します。



一般会計は
67億3,200万円

●歳入 (1万円未満切り捨て)

町税	町民税、固定資産税など	24億8,109万円
諸収入	預金利子や雑入など	1億4,127万円
分担金及び負担金	特定事業の受益者が分担負担するもの	9,326万円
使用料及び手数料	各種施設の使用料や手数料など	8,217万円
その他(繰入金他)	基金繰入金や繰越金など	5億6,579万円
地方交付税	国から交付される財源	13億3,000万円
町債	事業などのために借りる財源	7億1,110万円
国庫支出金	国からの補助金など	5億2,700万円
県支出金	県からの補助金など	3億8,883万円
各種交付金	地方消費税やゴルフ場利用税などから交付される財源	3億746万円
地方譲与税	国から譲与される財源	1億400万円

●一般会計予算の推移



当初予算額の概要

■新東名を活かした内陸フロンティア事業と住民への安心・安全対策に重点

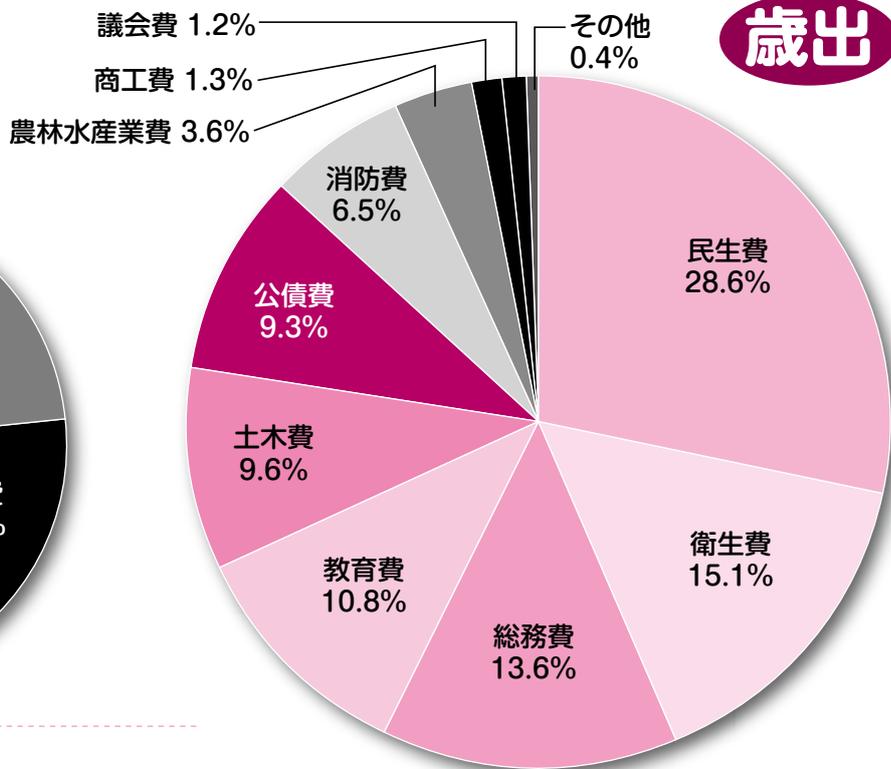
平成26年度一般会計当初予算の総額は、67億3,200万円です。前年度当初予算に比べて4,600万円、0.7%増の予算となりました。

これは、歳出において昨年度に比べスマートIC関連事業などの減少があるものの、防災・減災対策としての、拠点防災倉庫の整備や行政無線デジタル化電波調査、小中学校の給食棟耐震強化対策。消費税率引き上げの負担軽減措置として、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金給付事業。新東名を活かした内陸フロンティア推進事業や道路ストック総点検事業、橋梁の長寿命化対策など新たな取り組みにより前年度並になっています。このような予算措置で、森町のさらなる活性化への道筋を確実にし、町民の皆さんの安心・安全を確保し、住みやすいまちづくりを目指します。

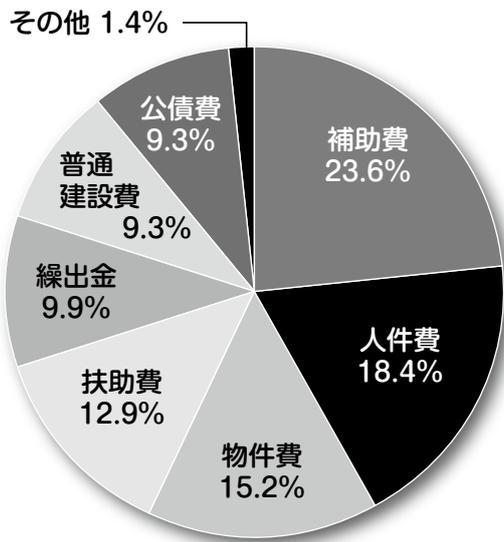
■町税、地方交付税は微増

歳入は、地方財政計画の見込み、前年度の決算見込額および企業業績の状況などを考慮し、町税では、個人住民税について対前年度比1.4%増の8億6,050万円とした一方で、法人税では対前年度比11.0%増の1億6,200万1千円、軽自動車税では同比2.2%増の4,717万円を見込み、対前年度比1.6%増の

歳出



● 性質別予算グラフ



● 会計別予算

	会計名	当初予算	前年比
	一般会計	67億3,200万0千円	0.7%増
特別会計	国民健康保険	20億4,118万2千円	0.4%増
	後期高齢者医療	1億8,586万4千円	0.0%増
	介護保険	17億7,191万3千円	1.0%増
	公共下水道事業	5億4,978万0千円	18.3%減
	簡易水道事業 大久保・三倉・大河内 特別会計の合計	402万8千円	0.7%増
企業会計	病院事業	36億1,003万5千円	7.8%増
	水道事業	5億8,432万3千円	6.4%増
	合計	154億7,912万5千円	1.6%増

● 歳出 (1万円未満切り捨て)

民生費	社会福祉の推進など	19億2,749万円
衛生費	予防衛生、医療の充実など	10億1,716万円
総務費	一般的な事務費や選挙費など	9億1,780万円
教育費	学校教育、社会教育の充実など	7億2,568万円
土木費	道路、河川の整備など	6億4,454万円
公債費	借入金の返済など	6億2,277万円
消防費	消防、防災対策など	4億3,740万円
農林水産業費	農業や林業の振興など	2億4,023万円
商工費	商工業の振興など	8,939万円
議会費	議会関係の経費	8,347万円
その他	労働費、災害復旧費、予備費など	2,602万円

24億8,109万円としました。また、地方交付税については、地方消費税交付金の増加や公務員給与費の臨時特例措置終了などを考慮し、対前年度比0.8%増の13億3,000万円としました。国・県支出金については、スマートIC関連事業などに係る社会资本整備総合交付金や参議院議員選挙などの選挙執行経費に係る交付金の減少などにより対前年度比10.9%減の9億1,584万円を計上しています。

■ 次世代へつなげる施策

歳出では、スマートIC関連事業や森地区まちづくり事業など大規模事業の減少、森林整備加速化・林業再生事業の終了などによる減少があるものの、第8次森町総合計画に掲げるまちの未来像「ええら森町」実現に向けた重点化事業の実施のため民生費、総務費、消防費などが増加しています。

現在の地方財政をとりまく情勢は、国・地方を通じて依然として非常に厳しい財政状況下に置かれているため、町では、自主・自立の観点からも地域との調和を図りつつ、産業の活性化による自主財源確保に努めます。また、新たな町の玄関口となる、遠州森町スマートICを有効に活用した、次世代へつなげる基盤づくりの事業や防災対策、医療・福祉の充実、生活基盤整備と将来構想を踏まえた事業を計画し、多方面にわたり、効率的・効果的に調和のとれた施策を展開していきます。

「まちの未来像」次世代へつながる5つの柱



新東名を活かした内陸フロンティア推進事業が始動。開通した遠州森町スマートIC

第8次森町総合計画の基本理念である「連携と協働」「個性と自立」「調和と創造」「交流と活気」「安心と快適」のまちづくりとまちの未来像「ええら森町」の実現に向け、次世代へつながる効率的・効果的で調和のとれた各種施策を積極的に取り組んでいきます。

ここでは、町長が掲げる政策の5つの柱に沿って今年度の主要な事業概要を紹介します。

1 確かな安全と、こころのやすらぎを感じるまちづくり(医療・地震対策)

- 平成元年度に配属した森町消防団第1分団1部の可搬式ポンプを更新し、地域の防災意識の高揚と早急な消火活動に努めます。(215万円)
- 県との連携を図り、耐震診断から耐震補強まで一貫した補助制度を活用し、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震化をより一層促進します。(921万円)
- 地震対策として、家庭内の家具などの固定を促進し、地震による家具などの転倒による被害を未然に防ぎます。(496万円)
- 森町家庭医療クリニックの安定的な経営を図るとともに、「病院事業第2次経営改革プラン」に基づいた経営改革を推進するため、病院事業に繰り出しします。(3億4,000万円)
- 大規模な災害発生に備え、拠点防災倉庫を整備します。物資の仕分け、備蓄及び消防団の拠点施設として利用し、防災力の向上に努めます。(4,877万円・新規)

2 次世代につながる成長の礎づくり(新東名関連の基盤整備)

- 係を新設し、工業用地開発可能性調査などを盛り込んだ内陸フロンティア推進事業に努めます。(1,727万円・新規)
- 遠州森町スマートICの利用促進を図るため、ETC専用ICの周知用パンフレットや観光ルートマップを作成します。また、一宮周辺地域渋滞対策に努めます。(1,270万円)
- 都市計画図を見直し、今後の企業誘致など土地利用に関する検討に役立てるとともに現況にあった地形図情報の提供に努めます。(2,000万円・新規)
- 道路など生活基盤施設の整備を進め、町内外から天宮地区への定住化を図ることにより、森地区全体の活性化に努めます。(2,100万円)

3 子供いきいき、生きがい実感のまちづくり(子育て、教育、福祉)

- 子育て支援対策として、4月1日からの消費税率引き上げに際し、臨時的な給付措置を行い、子育て世帯への影響緩和に努めます。(2,465万円・新規)
- 乳がん、子宮がん検診受診を促し、働く世代の女性のがん早期発見、早期治療により、生活の質の低下や経済的な不利益の防止などを図ります。(496万円・新規)
- 子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず、不妊治療で悩んでいる夫婦の経済的、精神的負担を軽減するために、不妊治療費の一部への補助を拡充します。(149万円)
- 母体や胎児の健康保持のため、妊婦健康診査や乳児健康診査の充実を図ります。(1,426万円)
- 0歳から中学3年生までの入院・通院医療費を助成し、今年度から入院自己負担金無料(新規)で、子育て世代の経済的な

負担軽減の拡充を図ります。

(5,399万円)

●森町の次代を担う子ども誕生を祝う「森つ子出産祝い金」を、前年度に引き続き実施し、次世代の森町定住の促進と活力あるまちづくりの推進を図ります。

(1,400万円)

●0歳から中学3年生までの次世代を担う子ども一人ひとりの健全な成長を支援するため「児童手当」を支給します。

(3億763万円)

●保護者が就労などで昼間留守になる子どもへの健全育成を目的とする放課後児童クラブの運営や延長保育など保護者の働きやすい環境、育児への相談業務など、子育てをしやすい環境の充実に努めます。

(3,116万円)

●三倉小学校において、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所となる放課後子ども教室を開き、地域の人たちの協力を得て、勉強やスポーツ・文化活動などを行うことにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めます。

(150万円)

●国際化時代に対応し、幼・小・中学生の総合的な英語力を培うことにより、次代を担う子ども

を育成します。

(910万円)

●児童・生徒の国語力を高め、社会の実情を多面的に考え、公正に判断する力を育むために、各小中学校において、教材用としての新聞や図書の充実を図ります。

(217万円)

●健康マイレージ事業を実施し、お達者度の高い健康・生きがいを実感できるまちづくりの推進に努めます。

(11万円・新規)

4 **住みやすく和を感じるまちづくり(生活基盤整備、環境、産業、文化)**

●道路ストック総点検事業や橋梁長寿命化工事、町営住宅の長寿命化計画の策定を進め計画的な整備を図ります。

(2,795万円・新規)

●森町病院や森町家庭医療クリニック、森町文化会館の利用者への利便性を高めるために、ユニバーサルデザインによる天浜線新駅を設置します。

(12,917万円)

●三倉・天方地区での地域住民との協働による自家用有償旅客運送バスの継続実施や、民間路線バス(3路線)、天竜浜名湖鉄道への経営支援を実施することにより、地域の生活の足を確保

します。

(4,645万円)

●通称広域農道の改良事業の推進や、一宮地区に農村公園を整備するための測量設計業務を実施します。

(6,980万円・新規)

●氷砂糖製造法を発明した町の偉人、鈴木藤三郎氏が建立した庵山観音菩薩像の修理を行います。

(255万円・新規)

●飯田城の公園整備を実施し、町の文化財や新たな観光スポットとしてPRをすることで、文化財への理解を深めるとともに、地域の活性化を図ります。

(165万円)

5 **信頼と絆をつなぐまちづくり(協働、行革、広域行政)**

●地域の公共的な課題に、町民が

主体的になつて取り組む活動に対して補助金を交付する「協働まちづくり推進事業」を継続します。

(178万円)

●公共交通機関である天竜浜名湖鉄道線路沿いの清掃活動を実施する団体などへ支援する「レールフレンドシップ事業」を実施し、町民のマイレール意識の向上や利用促進を図ります。

(30万円)

●職員の意欲や企画力の向上を図るため、職員研修の充実を図ります。

(184万円)

■問い合わせ先

役場企画財政課係

☎851-6306

平成26年度一般会計の 町民1人当たりの予算

345,851円
(339,012円)

※金額は平成26年3月1日現在の人口(19,465人)で計算しています。

※()内は25年度数値

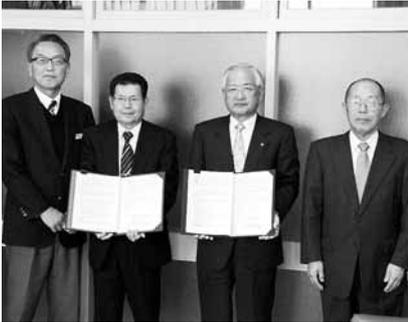
町民1人当たり 使われるお金の主な内訳

※()内は25年度数値

民生費	99,023円	(91,523円)
衛生費	52,256円	(52,148円)
教育費	37,281円	(37,721円)
総務費	47,151円	(40,384円)
土木費	33,113円	(42,369円)
消防費	22,471円	(19,887円)
農林水産業費	12,342円	(12,687円)
商工費	4,592円	(4,880円)

防災協定の調印式

森町と静岡県測量設計協会（鶴田忠男会長）は3月4日、災害時における測量設計等業務委託に関する協定書を締結し、森町役場で調印式を行いました。この協定は、災害時における民間協力の一環として、円滑な災害復旧活動のため、工事に必要な測量設計等業務委託を迅速に行い公共施設の機能の確保や復旧を図ることを目的としたものです。村松町長は「災害時の迅速な測量設計はとても心強い」と感謝し、災害時の連絡方法などを確認しました。鶴田会長は「当協会には66社、2,281人の技術者がいます。すでに県や市と同様な協定を結び経験を積んでおり、災害発生時には迅速な対応で復旧に協力します」と話しました。



協定を結んだ村松町長と鶴田会長（左から2人目）たち

教育顕彰式



教育顕彰式が3月8日、文化会館で開かれ、平成25年度に森町の教育活動に尽力された教育功労者7人と、スポーツ・文化活動で輝かしい成果を上げた児童、生徒など29人に表彰状と記念品が贈られ、その功績をたたえました。また、受賞者を代表して杉本和生さん（磐田農高3年）が昨年、毎日農業記録賞（毎日新聞社主催）で高校生部門優秀賞を受賞した

「お茶の販路拡大を目指して」の概要を発表し、出席者から大きな拍手が送られました。



発表をする杉本さん

交通安全協会森地区支部横断旗を寄贈

交通安全協会森地区支部女性部（松本くに系部長）は3月27日、「子どもの交通事故を無くそう」と部員ら手作りの横断旗53本を井上教育長に手渡しました。同支部では毎年、交通安全の啓発品を手作りしており、今回は、同支部のキャラクターである「茶太郎・茶子」が園服で元気に横断歩道を渡っている様子をフェルトで刺しゅうをし、「ありがとう横断中」と文字を入れ、車からよく目立つように黄色で作りました。同支部役員や交通安全指導員らがまごころ込めて作った旗は町内の幼稚園と保育園に配布されます。部員らは「子どもたちの登園や外出時に使って『幸せの横断旗』となることを願っています」と話しました。



井上教育長に横断旗を手渡す鈴木正一会長（左）と松下部長

長い間お疲れさまでした 井上教育長が退任



井上教育長 3月31日付けで退任され、平成17年4月1日に森町教育委員会教育長に就任。「心豊かな人づくり・夢づくり」を教育理念に掲げ、町民一人一人が夢や志を持って未来をひらいていくための礎を創るべく、町の教育の充実・文化の振興に9年間という長きにわたりご尽力されました。学校教育では、中学校区ごとに「自慢づくり」事業を展開したり、英語指導の強化、特別支援教育の充実などに力を注ぎました。社会教育では、生涯学習の推進に力を入れた。また、「森の夢づくり大学」を設立し、整備を図るとともに、教育活動の資質向上のために指導力を発揮されました。

後任の新教育長には比奈地敏彦さん（59歳・仲横町）が就任しました。



役場職員の人事異動

役場では4月1日付で人事異動を行いました。係長級以上の異動をお知らせします。

() 内は前所属

【参事・課長級】

参事(県技術派遣) 鈴木雅則 参事(兼) 税務課長(住民生活課長) 村松也寸志 病院事務局長(病院医事課長) 西谷勉次 住民生活課長(企画財政課長) 村松 弘 上下水道課長(建設課技監) 山田裕一 保健福祉課長(兼) 地域包括支援センター所長(保健福祉課副参事(兼) 地域包括支援センター所長) 村松富夫 産業課長(産業課副参事) 三浦 強 議会事務局長(上下水道課副参事) 三浦 健 病院管理課長(兼) 管理係長(病院管理課課長補佐(兼) 管理係長) 柴田 学 病院医事課長(兼) 医事係長(病院医事課課長補佐(兼) 医事係長) 高田志郎 総務課防災監(兼) 課長補佐(建設課課長補佐) 村松利郎 社会教育課長(税務課課長補佐(兼) 納税係長) 鈴木富士男 企画財政課長(企画財政課課長補佐) 長野 了

【課長補佐級】

社会教育課(体育館担当) 課長補佐(兼) 社会体育・体育館建設スタッフ 長(社会教育課課長補佐) 竹山正敏

住民生活課課長補佐(兼) 生活保全係長(住民生活課課長補佐(兼) 住民係長) 幸田秀一 学校教育課課長補佐(兼) 学校教育係長(学校教育課主幹(兼) 庶務係長) 西谷ひろみ 社会教育課課長補佐(兼) 文化振興係長(社会教育課主幹(兼) 文化振興係長) 北島恵介

建設課課長補佐(建設課主幹(兼) 管理係長) 小島行雄 税務課課長補佐(兼) 納税係長(社会教育課主幹(兼) 社会教育係長) 三倉徳泰 建設課課長補佐(兼) 管理係長(企画財政課主幹(兼) 管財係長) 花嶋 亘 企画財政課課長補佐(兼) 内陸フロンティア推進係長(総務課主幹(兼) 情報管理係長) 富田正治 保健福祉課課長補佐(兼) 地域包括支援センタースタッフ長(学校教育課主幹(兼) 学校管理係長) 村松成弘 上下水道課課長補佐(兼) 水道管理係長(住民生活課主幹(兼) 生活保全係長) 高木純一

【主幹・係長級】

出納室主幹(兼) 出納係長(税務課主幹(兼) 町民税係長) 藤田美恵子 建設課主幹(兼) 工事スタッフ(併) 社会教育課主幹(兼) 社会体育・体育館建設スタッフ(産業課技幹(兼) 林政係長) 中村安宏 企画財政課主幹(兼) 管財係長(建設課主幹(兼) 用地係長) 内藤豊久 建設課主幹(兼) 工事スタッフ長(建設課技幹(兼) 工事係長) 岡本教夫 保健福祉課主幹(兼) 保健

スタッフ長(保健福祉課保健係長) 山下浩子 住民生活課主幹(兼) 住民係長(総務課行政係主査) 坂元恵子 学校教育課主幹(兼) 学校管理係長(学校教育課学校管理係主査) 小澤貴代美

保健福祉課主幹(兼) 地域包括支援センタースタッフ(保健福祉課地域包括支援センター係保健師) 岡本裕実 保健福祉課主幹(兼) 保健スタッフ(保健福祉課地域包括支援センター係保健師) 朝比奈礼子 総務課主幹(兼) 情報管理係長(建設課都市整備係主査) 土屋成弘 学校教育課主幹(兼) 庶務係長(企画財政課財政係主査) 野口忠 社会教育課主幹(兼) 社会体育・体育館建設スタッフ(社会教育課社会体育係主査) 中村 貢 産業課主幹(兼) 林政係長(上下水道課上下水道工務係主査) 秋山大介 建設課技幹(兼) 用地係長(建設課用地係技術主査) 磯谷博俊 社会教育課主幹(兼) 社会教育係長(保健福祉課厚生係主査) 藤原崇 税務課主幹(兼) 町民税係長(税務課町民税係主査) 鈴木勇登

【新規採用職員】

藤川翔太(上下水道課上下水道工務係) 矢部行美(建設課用地係) 高木孝真(建設課都市整備係) 河合慶典(病院医事課医事係) 片岡久幸(学校教育課学校管理係) 山中雅之(企画財政課企画係) 大場有紗(住民生活課住民係) 神麻敏来(保健福祉課障

害福祉係) 田中彩乃(教育委員会・飯田幼稚園教諭) 村松 南(教育委員会・森幼稚園教諭)

【退職】

浦上治男(参事(兼) 議会事務局長) 瀧下和俊(参事(兼) 保健福祉課長) 増田多喜男(参事(兼) 産業課長) 大原直幸(社会教育課長) 岡野 豊(上下水道課長) 松浦慎一郎(税務課長)

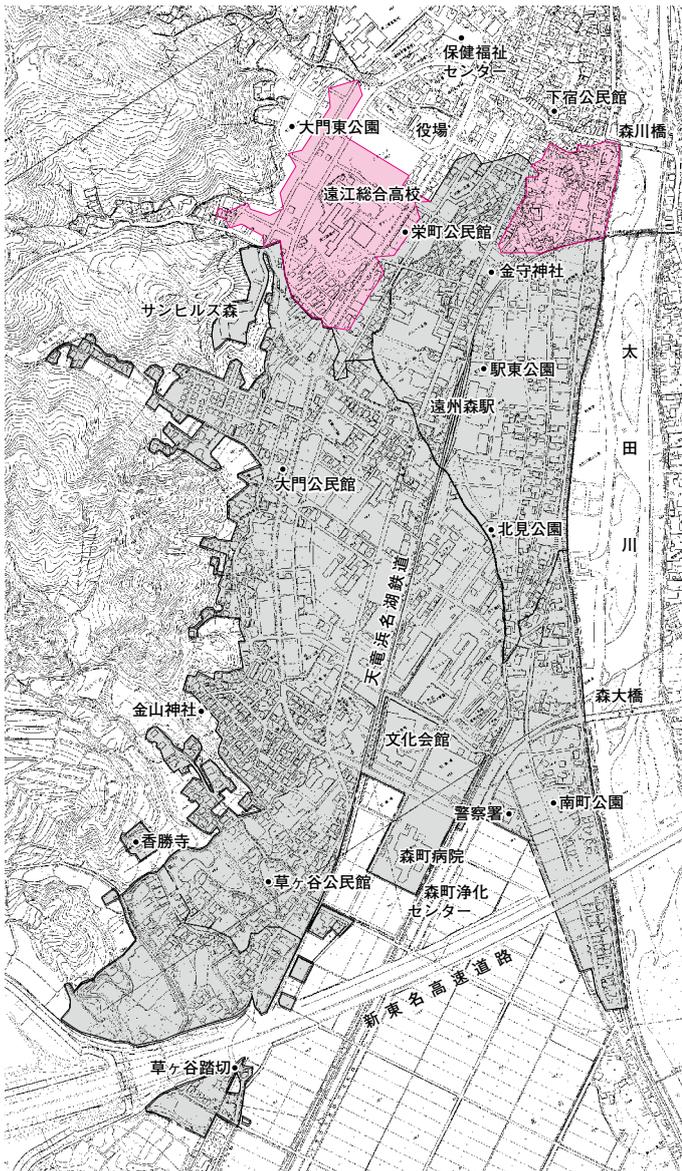
一木 進(病院事務局長(兼) 管理課長) 高木達雄(総務課防災監(兼) 課長補佐) 天野朝子(保健福祉課副参事) 西村嘉子(学校教育課課長補佐(兼) 学校教育係長) 安西初枝(出納室主幹(兼) 出納係長) 鈴木章弘(社会教育課主幹(兼) 社会体育係長) 栗田寅夫(上下水道課課長補佐(兼) 水道管理係長) 北川明子(上下水道課上下水道管理係主査) 山下マシミ(森幼稚園主任教諭) 齋木美智子(泉陽中学校主任(調理員)) 鈴木千恵子(森幼稚園教諭)

新規採用職員です。よろしくお願ひします!



片岡久幸・神麻敏来・田中彩乃・大場有紗・藤川翔太
山中雅之・矢部行美・河合慶典・高木孝真・村松 南

●森町公共下水道 供用開始区域図



= 新たに供用を開始した区域
 = 既に供用している区域

公共下水道への 接続をお願いします

3月28日から新たに公共下水道を利用できる区域（供用区域）が広がりました。

公共下水道の供用区域では家庭などから排出される汚水は公共下水道へ流すように義務づけられています。

ここでは、公共下水道を新たに利用できるようになった区域や下水道を利用するための手続きなどについてお知らせします。

① 新たに公共下水道を利用できるようにになった区域（供用開始区域）

森地区（下宿・大門・栄町中・栄町上）の一部で、平成25年度に下水道管の工事を行った区域が対象となります。（区域図をご参照ください）

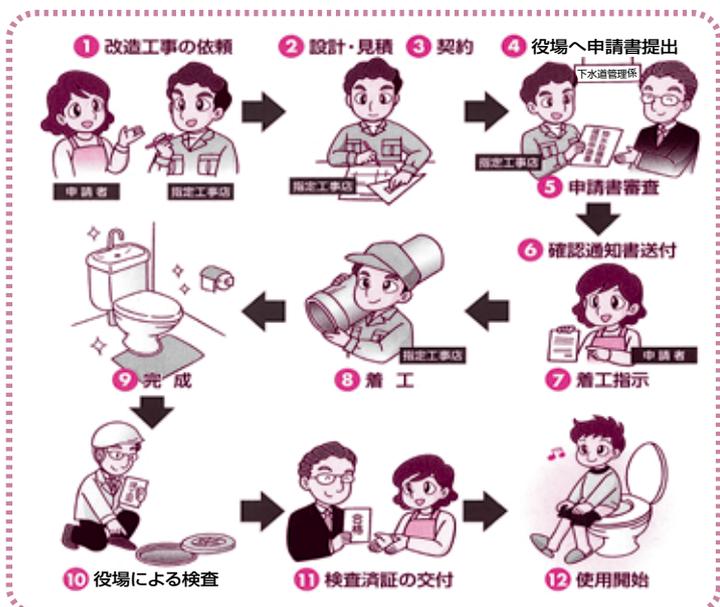
その区域の土地または建物の所有者など（受益者）には別途役場から供用開始などについてのお知らせをします。

② 下水道が供用開始になったら

供用開始になると、その区域では下水道が使えるようになります。対象区域の各ご家庭では、1年以内に排水設備の工事をして、町で設置した公共ますに排水を接続してください。

また、町では、この排水設備の工事を適正に、かつ、迅速に行うため一定の要件を満たす排水設備業者を「指定工事店」として指定しています。この「指定工事店」でなければ排水設備の工事を行うことができませんのでご注意ください。

③ 利用するまでの流れ



町では、快適で住みよいまちづくりのため、公共下水道事業を推進し、順次供用区域の拡大を図っていきます。工事期間中、町民の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。

なお、公共下水道の詳細については「森町ホームページ」(http://www.town.morimachi.shizuoka.jp/gove/jougesui/gesui/gesui_home.html)にも掲載していますので是非ご覧ください。

◎公共下水道に関する問い合わせは
役場上下水道課下水道管理係

☎(0538)85-6327

遠州森町スマートインターチェンジが開通しました。

3月29日、待望の遠州森町スマートICの開通記念式典が関係者により行われ、15時に開通しました。

12時30分から中日本高速道路株式会社主催の竣工式が行われ、その後13時30分から町主催の開通式典では、川勝平太県知事や綿貫民輔全国道路利用者会議会長をはじめ多くの来賓ご臨席のもと開催しました。

村松町長は式辞で「国土交通大臣から連結許可を受け2年で開通できたことは大変うれしく、関



▲村松町長の式辞

係の皆さんに御礼を申し上げます。パークングエリアにスマートICが開通したことで、大規模災害時には防災拠点にもなり、工業団地から新東名へのアクセスが短縮され、観光客の増加も期待できる。今後、それらをいかに活用していくかが大切であり、活用して町を発展させていくのが使命であると考えており、魅力ある町発展の礎としたい」と話しました。その後、事業概要報告や来賓祝辞に引き続きテープカット、くす玉割りを行い、浜松市の「天方吹奏楽団」による吹奏楽の記念演奏が行われました。



▲綿貫会長の祝辞



▲天方吹奏楽団による記念演奏



▲川勝知事の祝辞

住宅用太陽光発電システムの補助金を交付します。

町では地球温暖化防止や新エネルギーの有効利用を推進するため、町内に居住（または居住を予定）し、住宅用太陽光発電システムを設置する人に補助金を交付します。

① 補助対象

住宅用太陽光発電システムの設置

② 補助額

1戸ごとに、システムのモジュールの出力1kwあたり4千円（1万6千円を限度）

県の補助金と併給可能

〈県の補助金〉

住宅用太陽光発電設備導入支援事業費補助金（1kwあたり1万2千円、4万8千円を限度）

③ 対象期間

平成26年4月1日以降に着工し、平成27年3月31日までに設置を完了するもの

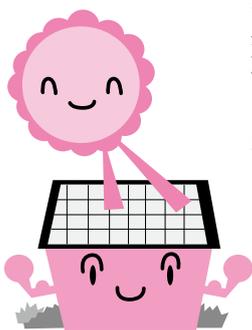
④ 申請方法など

設置者本人または家族の人が、設置開始前に交付申請書等を住民生活課生活保全係まで提出してください。設置完了後

に、実績報告書・請求書などを提出すると補助金が交付されます。

※交付申請書などについては、生活保全係（役場庁舎裏別館）に用意しています。また、町のホームページからもダウンロードできます。

※県の補助金が予算措置（県の予算がなくなつた場合など）の関係で受けられない場合は、町の補助額は1kwあたり1万6千円で上限6万4千円を限度として交付します。



問い合わせ先

役場住民生活課
生活保全係

☎053-6314

▼完成したあずまや



▲建設作業を進める生徒たち

アクティ森にあずまや完成

中遠建築高等職業訓練校の生徒たちが2月26日、アクティ森の花木園に休憩所となるあずまやを建設しました。生徒6人のほか、講師や建築関係者が、ヒノキ材を組み合わせ、高さ3メートル縦横2メートルのあずまやを組み立てました。このあずまや建設事業は、同校が生徒たちの課外実習をかねて行っているもので、森町内では初めて実施されました。

みんなの居場所 「森のこかげ」オープン

3月1日、町内初の居場所「森のこかげ」が本町にオープンし、開所式が行われました。居場所とは、高齢者の閉じこもり防止や仲間作り、世代間交流を目的とした、地域に住むあらゆる世代の人たちが気軽に集まることができる場所です。開所式で村松藤雄町長は「森のこかげを皆さんに活用してもらい、森町の『お達者度』が更に上がることを期待しています」とあいさつしました。



▲オープンを祝う関係者たち



▲いちご狩りに夢中の参加者たち

天浜線に乗っていちご狩りへ

森町天竜浜名湖線ふれあいの会（山本充喜会長）は3月9日、はまつフルーツパーク時之栖（浜松市北区）を目的地とした天浜線体験ツアーを開催しました。同会では、天浜線の利用促進とマイレール意識の高揚を図るため、毎年フルーツ狩りを企画しています。今回は家族連れなど17組67人が参加し、のどかな風景を眺めながら天浜線車内での時間を楽しんだ後、フルーツパークで旬のいちごをおなかいっぱいになるまで食べました。

MORIMORI TOPICS

もりまちの話題! ニュース! etc.



▲社員にお礼を手渡す園児たち

バレンタインのお返しに心を込めて

ときわ保育園の年長園児が3月14日、豊田合成(株)森町工場を訪れ、社員らに手作りクッキーをプレゼントしました。同社員らは、袋井警察署交通安全指導員とともに交通安全を呼びかける「愛のバレンタイン作戦」を2月に同園で実施。その際プレゼントされたチョコレートのお返しにと、園児らは「これからも交通ルールを守ります」と手作りのクッキーと交通安全ポスターを社員らに手渡しました。

子どもたちの華やかなステージ発表

文化会館大ホールで3月16日、第18回子どもの舞台フェスタが開催されました。町内のバレエ教室や舞楽保存会、中学校吹奏楽部など10団体、約150人の子どもたちが参加し、大きな舞台上で日ごろの練習の成果を披露すると観客から大きな拍手が送られました。また、終演後には、参加した子どもたちが東日本大震災への義援金を募り、集まった56,270円は後日、日本赤十字社を通して被災地に送られました。

▼元気いっぱいのダンスを披露



▲義援金を役場へ届ける子どもたち



▲長唄を披露する杵屋氏ら

▼作品に見入る来場者



各講座の1年間の成果を披露

森の夢づくり大学の第7回大学祭が3月22日と23日の2日間、文化会館で開催されました。今年度は計64講座で延べ619人の生徒が受講し、大学祭には51講座が参加。会場にはフラワーアレンジメントや絵画、陶芸などの力作が並んだほか、日本舞踊や茶道のお点前などが披露されました。また、23日には長唄の杵屋勝彦氏らを演奏者に招いて特別講座が開催され、多くの来場者が長唄や三味線の音色に聞き入っていました。

転ばぬ先の知恵袋

介護予防を
みんなで実践しましょう



基本チェックリスト対象者

65歳以上の方が対象です。
(ただし、要支援・要介護認定を受けている方は対象になりません)



基本チェックリストの流れ

高齢者の健康づくりでは、現在の心身の機能ができるだけ落とさないようにすることが、生活習慣病予防とともに重要になってきます。いつまでも自分らしく生きがいや目標をもって生活することが大切です。

平成25年度介護予防事業の参加者

町で実施した介護予防事業への参加者は、元氣あふぶ運動教室29名、もりトレクラブ(運動教室)15名、脳活性化教室32名、さわふれクラブ162名でした。

今年度も基本チェックリストを実施します



「基本チェックリスト」は、「自分の生活や健康状態をチェックし、介護予防に役立てていただくものです。転びやすくなっていないか、口の機能が保たれているか、偏った食生活をしていないか、家に閉じこもっていないか、物忘れなど認知機能が低下していないか、気分が落ち込んでいないかなどの26項目の質問に答えることで、心身の状態がチェックできます。

問い合わせ先

森町地域包括支援センター

☎ 85-1634-1

E-mail:houkatsu@town.morinachi.

shizuoka.jp

生活機能をチェックすることで自分の生活上の問題点を知り、積極的に介護予防を実践していきましょう。

④ 未提出の方には、確認の連絡をします

基本チェックリストの結果、生活機能低下の心配がある方には、介護予防教室などの紹介をします。(生活機能低下の心配がない方には、結果は郵送しません)

③ 基本チェックリストの結果、生活機能低下の心配がある方には、介護予防教室などの紹介をします。(生活機能低下の心配がない方には、結果は郵送しません)

② チェックリストが届いた方は記入のうえ、同封の返信用封筒で4月下旬までに返送してください。

① 対象者の方に4月初旬、基本チェックリストを個別郵送します。



暮らしの



心肺蘇生法・AEDを学びませんか?

救命講習の受講者を募集します

☆もしもの時のためにもぜひ受講しましょう!



袋井消防署森分署では、森町・袋井市に在住、在勤または在学中で中学生以上の人を対象に、普通救命講習・上級救命講習の受講者を募集します。

◎普通救命講習(定員20人)

成人の心肺蘇生法とAEDの使用方法、異物除去法などを3時間で学びます。

◎上級救命講習(定員16人)

普通救命講習の内容に加え、小児・乳児の心肺蘇生法、異物除去法などを8時間で学びます。

◎申込み方法

講習会前日までに、申請書を各消防署に提出してください。定員になり次第締め切らせていただきます。

※申請書は各消防署にあります。また、森町ホームページからもダウンロードできます。

◎注意事項

* 団体会受講される場合、1講習につき

き1団体5人まで受講可能です。
* 講習修了者には後日修了証を郵送しますので、定形封筒に受取人の住所・氏名を記入し、82円切手を貼り受講日に持参ください。
* 受講料は無料ですが、修了証郵送用の定形封筒と切手代のみご負担ください。

* 都合により日程などを変更させていただきます。

◎日程・開催場所

救命講習：日程表をご確認ください。
上級救命講習

7月5日(土)・11月9日(日)

いずれも会場は袋井消防署、開催時間 8時30分から17時30分まで

日程表

5月から9月までの開催日
10月以降の日程は9月号に掲載予定です。

開催時間 9:00~12:00 7月5日は8:30~17:30

	開催日	定員	会場
5月	11日(日)	20人	袋井消防署
	24日(土)	20人	森分署
6月	15日(日)	20人	森分署
	22日(日)	10人	山梨分遣所
7月	5日(土)	16人	袋井消防署
	27日(日)	10人	山梨分遣所
8月	4日(月)	20人	袋井消防署
	23日(土)	20人	森分署
9月	24日(日)	10人	山梨分遣所
	6日(土)	20人	袋井消防署
	28日(日)	20人	森分署

問い合わせ先

袋井消防署森分署

☎ 85-10119

スポーツ情報

Sports Information



森町柔道スポーツ少年団 第18回はじめ杯争奪湖西市柔道大会

12月1日(土) / 新居中学校武道場

■小学校3・4年生男子の部
3位 松原 輝(森小4年)

第9回菊川市柔道大会

2月15日(土) / 菊川南陵高校

■小学校3・4年生個人の部 3位 野口いろは(森小4年) ■小学校5・6年生女子個人の部 3位 鈴木彩夏(森小6年)

第5回天竜杯争奪剣道大会

2月2日(日) / 清竜中学校体育館

団体名: 精武館

■小学生低学年団体の部 3位
敢闘賞 中山 隼(森小4年)



第1回掛川市城下町駅伝競走大会

2月9日(日) / 掛川城周辺

団体名: 森町走友会

■小学生男子 5位
■小学生女子 優勝
■中学生男子 3位
■中学生女子 優勝



優勝した小学生女子の選手たち

第26回静岡県和道流空手道連盟空手道競技大会

3月9日(日) / ウェルピアながいずみ

団体名: 遠州館支部三希の郷空手道

形

■小学生1・2年の部男子
優勝 武山 想(宮園小2年)
3位 廣川竜駆(宮園小2年)

■小学生5・6年の部男子
優勝 堀内青空(天方小5年)

■小学生5・6年の部女子
準優勝 高田花菜(宮園小5年)

■中学生男子の部
3位 松下祐太(森中3年)

中学生女子の部
3位 松下愛加(森中2年)



組手

■小学生1・2年の部男子

準優勝 廣川竜駆(宮園小2年)

■小学生5・6年の部女子

3位 高田花菜(宮園小5年)

第34回高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会

3月15日(土) / 笠原ふれあい広場

団体名: 飯田青葉少年野球クラブ

袋井支部大会の決勝で、笠原スポーツ少年団に3対1で勝利し、5月5日に藤枝市で行われる同県大会の出場を決めました。



優勝したクラブ員たち



業務を開始した山梨分遣所 3月28日に行った落成式

職員数: 10人

自動車1台
自動車1台

【施設概要】
庁舎: 鉄骨造り平屋建て
配備車両: 水槽付き消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台

4月1日から袋井消防署山梨分遣所が消防救急業務を開始しました。
袋井消防署山梨分遣所は、森町南部地区と袋井市北部地区の消防救急体制強化のため、建設工事を進めてきたもので、業務開始により、この地区での消防・救急車両の現場到着時間が短縮されます。

袋井消防署
山梨分遣所
が
業務を開始しました



病院 だよ

身体に関する
豆知識や
森町病院の情報を
お届けします。



地震防災訓練を実施

3月15日、大規模地震を想定した地震防災訓練を病院職員など90人が参加して実施しました。

訓練では、職員とボランティアの人が災害で負傷した模擬患者となり、負傷の具合によつて搬送や治療の順番を分類するトリアージを行いました。また、2月から導入した電子カルテの停電時運用対応訓練や衛星電話を使った通信テストも行いました。



停電時電子カルテ運用対応訓練の様子



トリアージ訓練の様子



公立森町病院 ☎85-2181

4月から

「形成外科」外来が
スタートします

診療日

毎週火曜日

受付時間

8時～11時30分

医師

瀧口徹也(浜松医大)

対象疾患

やけど・しよくそう・はん
こん(傷跡の皮膚)など
外傷や腫瘍 ほか

※不明な点は、外来の担当
医師または総合案内にご
相談ください。

森町文化会館 ミキホール 公演ガイド



リチャード・クレイダーマン2014 withストリングス・トリオ&パーカッション

5/25日 開場 13:00
開演 13:30

ところ: 森町文化会館 大ホール

入場料(税込):
全席 友の会 6,500円
指定 一般 7,000円

チケット好評発売中!

主催: 森町ミキホール文化振興会
共催: サンライズプロモーション東京
後援: ビクターエンタテインメント
企画制作: ミュージックリーグ

チケット販売所: 袋井市月見の里学遊館/磐田市
情報館/イケアアピタ掛川店/アクトシティ浜松
チケットセンター/森町文化会館/チケットぴあ
(☎0570-02-9999 Pコード:223-202)/
ローンチケット(☎0570-084-004
Lコード:46241 <http://l-tike.com/>)/
e+(イープラス)(<http://eplus.jp/>)/サンライズ
プロモーション東京(☎0570-00-3337
<http://sunrisetokyo.com/>)

開館20周年 記念公演 とうきょうがく そ 東京楽所 雅楽



6/14日 開場 13:30
開演 14:00

ところ: 森町文化会館 大ホール

共演: 天宮神社十二段舞楽保存会、遠江国一宮小國神社古式舞楽保存会

入場料(税込): 全席指定
高校生以下 2,000円
友の会 3,000円
一般 3,500円

チケット好評発売中!

主催: 森町ミキホール文化振興会
後援: 森町教育委員会、
森町文化協会

チケット販売所: 森町文化会館/袋井市
月見の里学遊館/磐田市情報館/イケア
アピタ掛川店/アクトシティ浜松
チケットセンター/チケットぴあ(☎
0570-02-9999 Pコード:227-488)



由紀さおり 安田祥子 ファミリーコンサート

～うたが咲いています～

7/12日 開場 13:30 開演 14:00
ところ: 森町文化会館 大ホール

入場料(税込): 友の会 5,300円
全席指定 一般 5,800円

チケット 友の会: 4月19日(土) いずれも
発売日 一般: 4月20日(日) 9:00~
電話予約: 4月22日(火)

主催: 森町ミキホール文化振興会
特別協賛: 日本通運株式会社
チケット販売所: 森町文化会館/
袋井市月見の里学遊館/磐田市
文化振興センター/磐田市情報館/
イケアアピタ掛川店/アクトシティ
浜松チケットセンター/チケットぴあ
(☎0570-02-9999 Pコード:
227-490)

第17回 遠州艶歌の集い

7/20日 開場 13:30
開演 14:00

ところ:
森町文化会館 大ホール

入場料(税込):
全席 友の会 2,000円
自由 一般 2,200円

チケット 友の会・一般共通:
発売日 5月11日(土)9:00~

主催: 森町ミキホール文化振興会

チケット購入の ご注意

※取扱時間などは各販売所にお問合せくだ
さい。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

※各公演の内容などは、都合により変更する場合がありますのでご了承ください。

問 森町文化会館 ☎85-1111 (取扱時間9:00~17:00、月曜休館)

※月曜日が祝日の場合は火曜日が休館日



くらしのカレンダー



日 月 火 水 木 金 土

5月の納税など
(納期限6月2日)

- 固定資産税・都市計画税 …… 第1期分
- 軽自動車税 …… 全期分

アクティ森イベント情報
☎85-0115

ゴールデンウィークイベント

- 5月3日(土)~5日(月・祝) **かしわ餅作り**
- 5月4日(日)、5日(月・祝) **ポニー乗馬体験**
- 5月5日(日) **はたらくくるま大集合**
- 5月6日(火・祝) **お茶摘み体験**

1

- 📍リトミックランド (10:30~11:30)
所 保健福祉センター 児童館
☎85-2839

2

- 📍子育てセミナー (10:00~11:30)
所 保健福祉センター 子育て支援センター
☎84-4255

3 憲法記念日

4 みどりの日

5 こどもの日

6 振替休日

7

- 📍心配ごと相談 (9:00~12:00)
所 保健福祉センター 社会福祉協議会
☎85-5769
- 📍3歳児相談 (13:15~)
所 保健福祉センター 役場保健福祉課
☎85-6330
- 📍移動児童館 (15:00~16:30)
所 飯田小学校体育館 児童館
☎85-2839

8

- 📍飼い主のいない犬・猫引取り日 (10:00~10:20)
所 役場別館前 役場住民生活課
☎85-6314
- 📍すくすくクラブ (10:00~11:00)
所 保健福祉センター 子育て支援センター
☎84-4255
- 📍人権相談・行政相談 (13:00~15:00)
所 町民生活センター 役場住民生活課
☎85-6312

9

- 📍1歳児相談 (9:00~)
所 保健福祉センター 役場保健福祉課
☎85-6330
- 📍無料法律相談 (13:30~16:30)
所 町民生活センター 役場住民生活課
☎85-6312

10

- 📍クッキングクラブ (9:30~12:00)
所 保健福祉センター 児童館
☎85-2839

11

- 📍結婚相談 (9:00~11:30)
所 保健福祉センター 社会福祉協議会
☎85-5769

12

- 📍ボディトークを楽しむ会 (13:30~15:30)
所 保健福祉センター 役場保健福祉課
☎85-6330

13

- 📍保健のしおり交付 (9:30~)
所 保健福祉センター 役場保健福祉課
☎85-6330
- 📍森のくまさん広場※

14

15

16

- 📍2歳6か月児相談 (9:00~)
所 保健福祉センター 役場保健福祉課
☎85-6330
- 📍移動子育て支援センター (10:00~11:30)
所 一宮総合センター 子育て支援センター
☎84-4255

17

- 📍おはなしぶんご※
- 📍折り紙教室 (14:30~15:30)
所 児童館
☎85-2839

18

19

- 📍心配ごと相談 (9:00~12:00)
所 保健福祉センター 社会福祉協議会
☎85-5769

20

- 📍森のくまさん広場※

21

- 📍年金相談(要予約) (9:30~12:00)
所 町民生活センター 掛川年金事務所
☎0537-21-5521
- 📍移動児童館 (14:30~16:00)
所 三倉小学校体育館 児童館
☎85-2839

22

- 📍飼い主のいない犬・猫引取り日 (10:00~10:20)
所 役場別館前 役場住民生活課
☎85-6314
- 📍のびのびクラブ (10:00~11:00)
所 保健福祉センター 子育て支援センター
☎84-4255

23

24

- 📍おはなしぶんご※
- 📍お楽しみゲーム大会 (14:30~15:00)
所 児童館
☎85-2839

25

26

27

- 📍赤ちゃん健康相談 (9:30~)
所 保健福祉センター 役場保健福祉課
☎85-6330
- 📍森のくまさん広場※

28

- 📍移動児童館 (15:00~16:30)
所 宮園小学校体育館 児童館
☎85-2839

29

30

31

- 📍おはなしぶんご※

※定期開催 毎週土曜日 📍おはなしぶんご (10:30~11:00) 所 児童館 ☎85-2839
毎週火曜日 📍森のくまさん広場 (11:00~11:30) 所 子育て支援センター ☎84-4255

ニエンスストア、インターネットバンキングも利用できます。

問 磐田財務事務所課税課課税第1班
☎37-2211

相談

電話相談 「子ども・家庭110番」

～お子さんや子育てに関する悩みを一緒に考えます～

内容についての秘密は固く守り、匿名での相談も受け付けます。

電話相談をご希望の方は、下記の電話番号へおかけください。

相談電話 ☎053-458-4152(よいこに)
(西部地区)

相談時間 平日は9:00～20:00、土日は9:00～17:00(祝日、年末年始は休み)

○5月5日(月)～11日(日)は児童福祉週間です

『そのいっぽ みらいにつづく ゆめのみち』

暮らしの中の 何でも無料相談

相談内容 生活の中に起こる相続・離婚・心の悩み・家庭問題など

相談時間 平日9:00～17:00

相談先 ライフサポートセンター
中東遠事務所 ☎33-3715
西部事務所 ☎053-461-3715

募集

知事広聴「平太さんと語ろう」 傍聴者募集

川勝平太県知事が、地域の持つ「場の力」について皆さんと共に考える知事広聴「平太さんと語ろう」を開催します。知事が袋井市・森町で活躍されている6人の皆さんと意見交換しますので、ぜひ傍聴しましょう。

と き 5月30日(金) 13:30～15:30
(開場13:00)

と ころ 月見の里学遊館うさぎホール
(袋井市上山梨4-3-7)

申込期間 5月23日(金)まで

問・申 静岡県企画広報部広報課県民のこえ班 ☎054-221-2235 ☎054-254-4032、Eメールkenminnokoe@pref.shizuoka.lg.jp

手話奉仕員養成講座 受講生募集

と き 5月7日(水)～平成27年2月25日
(水)の毎週水曜日(全40回)

19:00～21:00

と ころ 前半：森町町民生活センター
後半：袋井市総合センター

対象者 町内在住・在勤で手話に興味のある18歳以上の人

定 員 15人(申込み多数の場合は抽選)

参加費 参加無料、ただしテキスト代は実費

申込み 4月21日(月)までに電話またはファックスで、住所・氏名・電話番号をお知らせください。

問・申 役場保健福祉課障害福祉係
☎85-1800、☎85-1294

平成26年度 浙江省中国語研修生の募集

静岡県と中国浙江省との友好交流事業の一環として、浙江大学に派遣する中国語研修生を募集します。

派遣期間 平成26年9月～平成27年2月

派遣先 浙江大学(中国浙江省杭州市)

応募資格 満20歳以上満40歳未満(学生不可)など

定 員 2人

募集締切 5月23日(金)必着

応募方法 所定の申込書および誓約書を郵送

※詳しくはホームページ(<http://www.pref.shizuoka.jp/kikaku/ki-130/>)をご覧ください。

問 静岡県地域外交課
(〒420-8601静岡市葵区追手町9-6)
☎054-221-3066

第27回わんぱく相撲 袋井場所参加者募集

両国国技館で行なわれる全国大会の予選です!

と き 5月11日(日) 8:00～
(雨天決行)

と ころ 愛野公園相撲場
(袋井市豊沢1727)

参加対象 小学生(男女問いません)

応募方法 申込用紙に記入のうえ、ファックスにてお申込みください。

応募締切 4月26日(土)必着

その他 参加無料、定員先着100人

問・申 公益財団法人袋井青年会議所
(担当：浜田) ☎090-3184-2904、☎43-4939

静岡理科大学平成 26年度第1回公開講座

と き 5月3日(土) 13:30～16:30

と ころ 静岡理科大学学生ホール3階
300講義室(袋井市豊沢2200-2)

講演テーマ 中小企業の未来を考える

参加費 無料

申込方法 電話またはホームページ(<http://www.sist.ac.jp/>)からお申込みください。定員250人に達し次第締め切ります。

問・申 静岡理科大学総務課
☎45-0111

小学生～高校生のための 夏休み海外派遣参加者募集

国際青少年研修協会では10事業の参加者を募集しています。

派遣日程 7月25日(金)～8月17日(日)の8～18日間※事業により異なる

派遣先 アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、サイパン、シンガポール、フィジー

内 容 ホームステイ、ボランティア、文化交流、学校体験、英語研修など

申込締切 6月2日(月)または9日(月)
※事業により異なる

○説明会(静岡)

と き 5月18日(日) 14:30～16:00

と ころ 静岡勤労者総合会館(静岡労政会館)(静岡市葵区黒金町5-1)

その他 予約不要、入場無料

問・申 公益財団法人国際青少年研修協会 ☎03-6417-9721、☎03-6417-9724



情報ステーション

お知らせ

森町子ども医療費助成の自己負担金の変更について

町で実施している子ども医療費助成の入院の自己負担金が4月1日の診療分から無料になりました。助成対象および通院の自己負担金については今までと同様です。

4月からは、3月末に郵送した「黄色」の新しい子ども医療費受給者証をご使用ください。

現在使われている「みどり色」の受給者証は有効期限が「平成26年9月30日まで」と記載されていますが、4月1日以降は使用できません。ただし、利用状況を確認させていただくことがありますので6月末日までは保管し、それ以後各自で破棄してください。

※お手元に届いていない場合は保健福祉課までご連絡ください。

問 役場保健福祉課保健スタッフ
☎85-6330

高齢者のための予防接種費用の一部助成について

高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部助成があることをご存じですか？

この予防接種は、肺炎の中で1番多い肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぐものです。1回で5年間は効果が持続すると言われていています。接種を希望する人は、是非この機会をご利用ください。ただし、このワクチンで全ての肺炎を予防できるわけではありません。また、5年以内に再接種を受けると、接種部位の痛み、はれ、赤みなどが強く現れることがありますので、再接種については医師と十分ご相談ください。

対象者 森町にお住まいで過去5年以内に同じ予防接種を受けていない70歳以上の人（ただし、脾臓を摘出されている人は対象外）

助成費用 接種費用8,228円のうち、町で3,228円を助成。5,000円を医療機関にお支払いください。

助成回数 1人につき1回限り
接種期間 平成27年3月31日まで
医療機関 町内、袋井市内、旧豊岡町内の協力医療機関
問 役場保健福祉課保健スタッフ
☎85-6330

特定不妊治療費助成事業

町では少子化対策の一環として、医療保険が適応されない高額な特定不妊治療(体外受精および顕微授精)を受けるご夫婦の経済的負担を軽減するため、治療に要する費用の一部を助成します。

対象者 ①法律上婚姻している夫婦
②夫または妻のどちらかが森町に申請日より1年以上前から居住していること③体外受精および顕微授精以外の治療法では妊娠の見込みがないか、または極めて少ないと医師に診断された夫婦④夫と妻の合計所得額が730万円未満⑤静岡県特定不妊治療費補助金の交付を受けることが確定していること⑥町民税などを滞納していないこと

助成内容 県の補助を受けた分を差し引いて、1回の特定不妊治療につき10万円を上限として、1年度2回まで助成します。

助成期間 通算5年間
(年度は連続する必要なし)

申請方法 県特定不妊治療費補助金の確定通知書を受け取ってから**30日以内**に申請してください。

※詳しくは森町ホームページをご覧ください。申請用紙もダウンロードできます。

※静岡県は特定不妊治療費の助成制度、相談窓口を設けています。詳しくは県ホームページ (<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-140/kokatei/funin1.html>) をご覧ください。

問 役場保健福祉課保健スタッフ
☎85-6330

高齢者はり・きゅう・マッサージ治療費の助成を受けられる方へ

毎年4月1日現在で満70歳以上の人を対象に、はり・きゅう・マッサージ

治療費の助成を行っていますが、平成26年度から受療券を使える治療院を拡大します。

これまでは、(社)静岡県はり・きゅう・マッサージ師会森支部に所属する治療院のみでしたが、これからは町内で開設している、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の免許を持ち、受療券の使用を承諾した治療院、整骨院で使用できます。

詳しくは、申請の際にご確認ください。

問 役場保健福祉課
地域包括支援センター
☎85-6341

皆さんにご協力いただいた東日本大震災義援金の額

5,454,778円 (3月31日現在)

義援金の送付先

○役場保健福祉課窓口
(保健福祉センター内)
役場住民生活課受付窓口

○日本赤十字社

■郵便振替 (郵便局)

□座記号番号：00140-8-507

□座加入者：日本赤十字社

東日本大震災義援金

受付期間 平成23年3月12日から受付を開始しているところですが、今もなお多くの義援金が寄せられていることから、**受付期間を平成27年3月31日まで延長**することになりました。引き続きご協力をよろしくお願いします。

中遠クリーンセンター休業のお知らせ

中遠クリーンセンターは、4月29日(火)、5月3日(土)～6日(火)は休業します。

大型連休前後のごみの持ち込みは大変込み合いますので、お早めにお願ひします。

問 袋井市森町広域行政組合

中遠クリーンセンター ☎30-0530

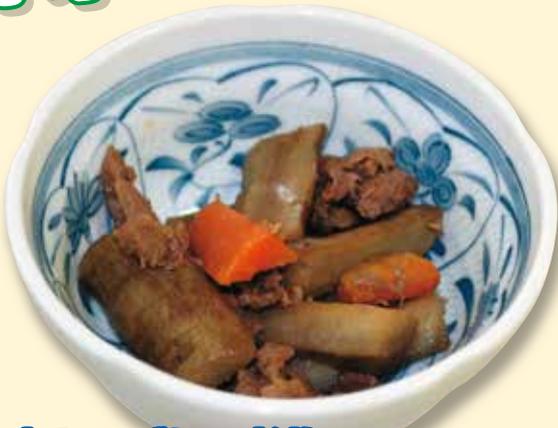
自動車税の納期限は6月2日(月)です

納期限 6月2日(月)

納付場所 金融機関、郵便局、コンビニ

オホのレシピ

森町健康づくり食生活推進協議会では「私たちの健康は私たちの手で」をキャッチフレーズに、食生活の改善と健康づくりにつながる料理づくりに取り組んでいます。



牛肉とごぼうの煮物

材料(4人分)

- 牛こま切れ肉 …… 100g
- ごぼう …… 2本(400g)
- サラダ油 …… 大さじ1/2
- A
- 砂糖 …… 大さじ2
- みりん …… 大さじ1
- しょうゆ …… 大さじ3
- 水 …… 1カップ

作り方

- ①ごぼうは薄く皮をむいて3cmくらいに切り、さらに縦半分に切る。水にさらしてアクを抜く。
- ②鍋にサラダ油を熱し、牛こま切れ肉を入れて炒める。
- ③肉の色が変わったらごぼうの水気をきって加え、ごぼう

が透き通るくらいまで十分に炒め合わせる。

④Aの調味料と水を加え、沸騰したら落としふたをして弱火で15～20分くらい煮る。

⑤火を止めて器に盛りつける。



豆乳汁

材料(4人分)

- にんじん …… 40g
- 小松菜 …… 70g
- しめじ …… 1パック
- だし汁 …… 400cc
- 豆乳 …… 200cc
- みそ …… 大さじ2弱

作り方

- ①にんじんはいちょう切り、小松菜は3cmに切り、しめじは小房にほぐす。
- ②だし汁で①を煮て、みそを加える。
- ③②に豆乳を加え一煮立ちしたら火をとめる。

お料理メモ

ごぼうは、特有の風味や食感があり、煮物やきんぴら、サラダなど調理法によっていろいろな味わいが楽しめます。また、豆乳はタンパク質を多く含み、みそ汁に加えることで味がまろやかになります。ぜひおためしください。

ところで、春野菜にはアクが強く、独特の苦みを感じるものが多いです。この苦みの成分には細胞の新陳代謝を活発にして、体の老廃物を排出する働きがあるとわれ、春の七草がゆも体のお掃除としていただく生活の知恵です。色々な種類をバランスよくいただきます。

●問い合わせ先 役場保健福祉課保健スタッフ ☎85-6330

人の動き

4月1日現在 () 内は先月比

世帯数	6,403(+ 8)
人口	男 …… 9,623(-38)
	女 …… 9,781(-23)
計	19,404(-61)

編集後記

キーボード

▼この度の人事異動で広報係を離れることになりました。取材を通じて、たくさんの人たちと出会い、町内の様々な場所や行事を知ることができた貴重な3年間でした。お世話になった皆さんに感謝し、この経験をこれからに生かしたいと思えます。(鈴)

▼広報の仕事をさせて頂くようになり皆様のおかげでなんと1年過ぎることができました。新年度が始まり、行事の多い4月は毎日があたたたく、1日があつという間に過ぎてしまいます。今年度は新担当者とともに新コーナーにも挑戦して行きたいと思っています。(松)